

本場毘龍織の由来

我が国戦国史に不滅の光芒を放つ不世出の英傑、米沢藩祖上杉謙信公は、その軍を進めるにあたり、常に「毘」「龍」の二つの旗を先頭に翻らせ、鬼神も恐るる絶対不敗の戦いを展開いたしました。

「毘」の旗は、謙信公が日ごろ深く信仰した降魔の軍神、毘沙門天の頭文字をとってその軍旗としたもので、謙信公自ずからが降魔神毘沙門天と一体であり、またその軍兵は正義の軍隊であるという熱血の英雄謙信公らしい抱負に由来するものであります。

また「龍」の旗は、別に「懸り乱れ龍」かかみだの旗ともいい、勇壮な突撃の際に、これを馬前に打ちたたてたものでありますが、天空を奔放にかける龍の勢いを、総攻撃の勢いになぞらえたのは、いかにも戦いの詩人と謳われた謙信公らしい軍旗といえましよう。

米沢織は、この謙信公を藩祖にいたたく上杉藩の城下町米沢に生れた伝統織物であります。そしてこの米沢織の嫡流となってきたのは、つねに高級殿方衣裳でした。——米沢織の格調高い伝統を現代に伝える当社は、主力製品の高級殿方衣裳に、藩祖謙信公の旗印「毘龍」の二字を戴き、その商標として登録いたしております。熱血、正義の英雄謙信公の名に恥じない秀れた品質の製品であると自負いたしております。何卒よろしく御愛用賜りますよう、伏してお願ひ申し上げます。

毘龍織々元

株式会社 安部 吉

主人敬白